

平成 29 年度 事 業 報 告 書

1. 会 務 関 係

(1) 常任理事会の開催

理事会の委任を受けた事項（総会に提出する議案）について審議し、承認された。

第 1 回 平成 29 年 6 月 20 日（火）大阪府職業能力開発協会 第 1 会議室

第 2 回 平成 30 年 3 月 26 日（月） 〃

(2) 第 49 回理事会及び第 38 回通常総会の同時開催

平成 28 年度事業報告及び収支決算並びに平成 29 年度事業計画（案）及び収支予算（案）等の議案について審議し、原案どおり承認された。

また、総会後会員交流会を開催し、協会推薦の前年秋及び翌春の褒章・叙勲受章者の方の功績を称えお祝いを行った。（黄綬褒章 3 名、瑞宝単光章 2 名）

平成 29 年 6 月 23 日（金）大阪商工会議所

(3) 広報関係

① 協会ホームページの業務案内を定期的に更新し、会員、府民に適宜、適切に情報提供した。また、スマートフォン対応ページの増設を行った。

② 職業能力の開発及び向上を促進、技能検定受検者の確保・増大を図るため、パンフレット、ポスター等を配布した。

(4) 会員の確保及び組織の拡大

技能検定の説明会、受験申請時、講演会等の機会に未加入事業所に加入の働きかけを行った。

[平成 30 年 3 月 31 日現在会員数]

・ 事業所会員	99	[97]
・ 団体会員	101	[99]
・ 認定訓練校会員	5	[5]
・ 計	205	[201]

2. 職業訓練振興事業

- (1) 大阪府職業能力開発促進大会における会長表彰等
- ① 職業訓練関係会長感謝状
 - ・団体及び職業訓練推進功労者 2名 [3]
 - ② 技能検定関係会長表彰等
 - ・賞状授与：技能検定成績優秀者 130名 [147]
 - ・感謝状贈呈：技能検定推進協力者 114名 [76]
 - ③ 技能競技大会関係会長表彰
 - 技能競技大会成績優秀者 7名 [5]
- (2) 認定職業訓練校修了生のうち成績優秀者に対する会長表彰 12名 [9]
- (3) 協会会員団体等が実施するコンテスト等への会長表彰
9団体13名 [9団体13名]
- (4) 各種表彰制度への推薦
- ① 褒章、叙勲
 - ・褒章 「黄綬褒章」 春 1名 [2]
 - 秋 1名 [2]
 - ・叙勲 「瑞宝単光章」 春 1名 [1]
 - 秋 1名 [1]
 - ② 厚生労働大臣表彰
 - ・「卓越した技能者表彰『現代の名工』」 4名 [1]
 - ・「全国職業能力開発関係表彰」
 - 技能検定関係団体 1団体 [1]
 - 技能検定事業関係都道府県技能検定委員 4名 [4]
 - ③ 大阪府知事表彰
 - ・「大阪府優秀技能者表彰『なにわの名工』」 25名 [24]
 - ・「大阪府青年優秀技能者表彰『なにわの名工若葉賞』」 20名 [13]
 - ④ 中央職業能力開発協会会長表彰「全国職業能力開発関係表彰」
 - ・職業能力開発事業関係 — [1]
 - ・職業能力開発事業関係功労者 1名 [2]
 - ・技能検定事業関係都道府県技能検定委員 5名 [4]

3. 技能検定事業関係

(1) 技能検定関係会議

受検申請の受付事務、実技試験の円滑、公正な運営等を図るため、下記会議を前・後期に2回開催した。

- ① 実施事務説明会
- ② 実技試験運営担当国会議
- ③ 技能検定委員打合せ会

(2) 技能検定試験の実施

職業能力開発促進法第46条第4項の規定に基づき、大阪府知事が公示する実施計画により実施した。

【一般】

期	級別	職種数	作業数	学科試験	実技試験
前期	1・2級	45 [45]	75 [71]	3,154人 [3,048]	3,656人 [3,515]
	3級	15 [15]	20 [21]	480人 [533]	486人 [530]
	単一等級	5 [5]	7 [6]	118人 [162]	137人 [166]
	① 小計	65 [65]	102 [98]	3,752人 [3,743]	4,279人 [4,211]
後期	特級	21 [19]	—	357人 [373]	186人 [186]
	1・2級	46 [48]	62 [65]	2,397人 [2,303]	3,065人 [2,884]
	3級	15 [16]	15 [16]	547人 [527]	576人 [520]
	単一等級	5 [2]	5 [2]	94人 [61]	101人 [74]
	② 小計	87 [85]	82 [83]	3,395人 [3,264]	3,928人 [3,664]
③ 一般計【①+②】	152 [150]	184 [181]	7,147人 [7,007]	8,207人 [7,875]	

【随時級】

級別	職種数	作業数	学科試験	実技試験
随時3級	38 [8]	48 [9]	615人 [29]	860人 [29]
基礎級	50 [48]	74 [68]	3,488人 [2,685]	3,178人 [2,462]
④ 随時級計	88 [56]	122 [77]	4,103人 [2,714]	4,038人 [2,491]

※ 平成29年11月1日から「基礎1級」と「基礎2級」を統合し、「基礎級」と表す。

【合計】

⑤ 合計【③+④】	職種数	作業数	学科試験	実技試験
	240 [206]	306 [258]	11,250人 [9,721]	12,245人 [10,366]

※上記〔〕内の数字は平成28年度実績

(3) 若年者の受検手数料の減免

若年者（35歳未満）が技能検定を受検しやすい環境を整備し「ものづくり分野」を支える必要な人材の確保・育成を支援するため、平成29年度後期から2級、3級を対象に実技試験受検手数料を最大9,000円減免した。

・減免対象者数：1,764人

(4) 工業・農業高校教員向け技術研修会（実技指導）

熟練技能士の実技指導を通じて、教育現場で生徒の指導にあたる教員の技能検定への理解を深めるとともに、技術・技能を向上し、もって工業、農業を学ぶ高校生の受検促進を図ることを目的に開催した。

・7職種 8回 49人受講〔6職種 7回 53人受講〕

(5) 1級技能検定合格者に対するフォローアップ講習

評価対象能力の変化の大きな職種・作業の1級技能検定合格者に対し、近年の技術革新等を踏まえたフォローアップ講習を実施した。

・5職種 5回 51人受講〔4職種 4回 50人受講〕

(6) 技能競技大会関係事業の実施

① 若年者ものづくり競技大会への参加

職業能力開発施設、工業高等学校等において、原則として、技能を習得中の企業等に就業していない20歳以下の若年者が対象で、これら若年者に目標を付与し、技能を向上させることにより若年者の就業促進を図り、併せて若年技能者の裾野の拡大を図ることを目的として開催されるものであり、第12回大会に次のとおり参加した。

・開催期間：平成29年7月30日～8月4日

・開催場所：愛知県

・大阪府参加状況

職種名	参加者数	入賞者数	
		第12回(平成29年度)	第11回(平成28年度)
電子回路組立て	1人〔1〕	銀賞(第2位)：1人	銀賞(第2位)：1人
建築大工	1人〔1〕		
ITネットワークシステム管理	1人〔1〕		
ウェブデザイン	2人〔1〕		銅賞(第3位)：1人
グラフィックデザイン	2人〔2〕		
造園	3人		
6職種〔5〕	10人〔6〕	銀賞(第2位)：1人 計：1職種 1名	銀賞(第2位)：1人 銅賞(第3位)：1人 計：2職種 2人

※上記〔〕内の数字は平成28年度実績

② 技能五輪大阪府大会の実施

技能五輪全国大会への参加選手選考のため、技能検定実技試験に併せて次のとおり実施した。

期	職 種 人	参加者数
前 期	旋 盤（普通旋盤作業）	4人 [3]
	フライス盤（フライス盤作業）	5人 [2]
	精密機器組立て（精密器具製作作業）	2人 [-]
	自動車板金（打出し板金作業）	1人 [1]
	機械組立て（機械組立仕上げ作業）	11人 [4]
	電子機器組立て（電子機器組立て作業）	1人 [-]
	貴金属装身具（貴金属装身具製作作業）	3人 [2]
	フラワー装飾（フラワー装飾作業）	2人 [2]
後 期	配 管（建築配管作業）	7人 [10]
	機械製図（機械製図CAD作業）	1人 [1]
	電 工	2人 [1]
計	10職種 [9]	35人 [26]

③ 技能五輪全国大会への参加

国内の原則23歳以下の青年技能者の技能のレベルを競うことにより、青年技能者に努力目標を与えるとともに、広く一般国民に対して技能の重要性、必要性をアピールし、技能尊重気運の醸成を目的として開催されるものであり、第54回大会に次のとおり参加した。

- ・開催期間 平成29年11月24日～27日
- ・開催場所：栃木県
- ・大阪府選手団参加状況

職種名	参加者数	入賞者数	
		第55回(平成29年度)	第54回(平成28年度)
機械組立て	9人 [8]	銀賞(第2位) : 1人 銅賞(第3位) : 1人 敢闘賞 : 2人	金賞(第1位) : 1人 銀賞(第2位) : 1人 敢闘賞 : 2人
精密機器組立て	2人 [2]		
メカトロニクス	4人(2チーム) [6人(3チーム)]		
旋盤	4人 [5]	敢闘賞 : 1人	
フライス盤	2人 [3]		
自動車板金	2人 [2]	敢闘賞 : 1人	
配管	2人 [1]		
電工	1人 [1]		敢闘賞 : 1人
貴金属装身具	3人 [3]	銅賞(第3位) : 1人	銅賞(第3位) : 1人 敢闘賞 : 1人
フラワー装飾	2人 [2]		
美容	6人 [6]	銅賞(第3位) : 2人 敢闘賞 : 3人	金賞(第1位) : 1人 銀賞(第2位) : 1人 銅賞(第3位) : 1人 敢闘賞 : 2人
理容	1人 [-]		
造園	3人 [4人(2チーム)]		銀賞(第2位) : 2人(1チーム)
日本料理	2人 [2]		
ITネットワークシステム管理	1人 [-]		
情報ネットワーク施工	4人 [4]	銀賞(第2位) : 1人 銅賞(第2位) : 1人	銀賞(第2位) : 1人 敢闘賞 : 2人
16職種 [14]	48人 [49]	金賞(第1位) : 0人 銀賞(第2位) : 2人 銅賞(第3位) : 5人 敢闘賞 : 7人 計 : 6職種 14人	金賞(第1位) : 2人 銀賞(第2位) : 5人 銅賞(第3位) : 2人 敢闘賞 : 10人 計 : 6職種 19人

※上記 [] 内の数字は平成28年度実績

4. 技能審査・評価事業

- (1) CADトレース技能審査の実施 ※平成29年度で廃止

受験者数 120人 [187]

合格者数 53人 [74]

- (2) コンピューターサービス技能評価試験の実施

受験者数 57人 [192]

合格者数 39人 [178]

5. ビジネス・キャリア検定試験

事務系職務8分野について3級～1級及びBASIC級のレベルに体系化した実務能力評価42試験の大阪府試験会場業務を実施した。

受験者数 2,233人 [2,213]

6. 各種講習（セミナー）事業

- (1) 職業訓練指導員講習

職業訓練に関し、指導的立場にある人を対象に、職業訓練指導員として、必要な指導方法等に関する講習を実施した。

受講者数 64人 [61]

- (2) 普通職業訓練短期課程「管理監督者コース」

管理監督的立場にある人を対象に、管理監督として必要な「仕事の教え方」、及び「人の扱い方」の基礎的な技能向上を図るため開催した。

受講者数

①一般講習 2コース 16人 [17]

②講師派遣講習 2社 3コース 39人 [40]

- (3) 新入社員基礎講座

仕事・会社への理解を深めるとともに、自己理解を深めキャリア・ビジョンを描かせることを目的に開催した。

また、半年後、希望により個別で訪問キャリア・コンサルティングを実施した。

・受講者数 2回 42人 [72]

・フォローアップ 6社 15人 [19]

7. 職業訓練センター事業関係

建設業の現場に必要な労働安全衛生法に基づく技能講習、特別教育をはじめ国家資格受験等のための各種講座を、比較的低廉な受講料で、次のとおり開催した。

(1) 労働局登録教育

ガス溶接技能講習 受講者数 3回 136人 [164]

(2) 労働安全衛生法に基づく特別教育・安全衛生教育

① アーク溶接特別教育 受講者数 3回 86人 [137]

② 安全衛生教育

ア 職長教育+安全衛生責任者教育 受講者数 15回 770人 [698]

イ 安全衛生責任者追加教育 受講者数 0回 0人 [22]

③ 酸素欠乏等危険作業特別教育 受講者数 3回 99人 [109]

④ 自由研削といし取り替え作業特別教育 受講者数 12回 609人 [605]

⑤ 粉じん作業特別教育 受講者数 3回 114人 [98]

⑥ 低圧電気取扱特別教育 受講者数 21回 908人 [857]

受講者数計 2,586人 [2,526]

(3) 国家資格の受験講座

① 電気主任技術者(第三種) 受講者数 491人

② 第二種電気工事士

ア 筆記講習 受講者数 116人

イ 技能講習 受講者数 146人

③ 第一種電気工事士

ア 筆記講習 受講者数 63人

イ 技能講習 受講者数 77人

④ 各種工事施工管理技士の学科・実地講習

ア 1級・2級 土木施工管理技士 受講者数 36人

イ 1級・2級 電気工事士施工管理技士 受講者数 26人

ウ 1級・2級 建築施工管理技士 受講者数 61人

エ 1級・2級 管工事施工管理技士 受講者数 18人

オ 1級各種施工管理(実地講習) 受講者数 84人

カ 2級各種施工管理(実地講習のみ) 受講者数 10人

受講者数計 1,128人 [1,109]

(4) 普通職業訓練短期課程「シーケンス制御」 受講者数 24人 [22]

(5) 保育士受験講座

① 保育士(筆記) 受講者数 221人

② 保育士(実技) 受講者数 48人

受講者数計 269人 [545]

8. 受託事業関係（厚生労働省）

(1) キャリア支援企業創出促進事業 ※平成29年度で事業終了

労働者の主体的な職業能力開発の取組みを促進するために、事業主自身による労働者のキャリア形成を計画的かつ段階的に推進するための各種支援を行うとともに、併せて、事業内で選任された職業能力開発推進者への支援を行うなど、労働者の主体的なキャリア形成を支援する企業の取組みを創出し、促進することにより企業内人事育成の一層の推進を図るため、下記のとおり実施した。

- ① 大阪職業能力開発サービスセンターの運営 利用件数 2, 394件
- ② 法に基づく企業内のキャリア形成支援や職業能力開発の取組みの促進及び事業内職業能力開発計画等に係る助言・指導、情報提供等
 - 助言・指導、情報提供 13, 461件
 - キャリア支援講習 70人/2回〔34〕
 - サークル交流会 44人〔9〕/4回〔1〕
- ③ 職業能力開発推進者講習（導入レベルのキャリアコンサルティング講習－2日コース－）の開催
 - 実施回数 2回〔2〕
 - 参加者数 52人〔35〕
- ④ 中小企業を主な対象としたキャリアコンサルティングサービスの提供
 - 支援回数 308回〔101〕
- ⑤ その他
 - 中央職業能力開発協会が行う連絡・調整等のもと、緊密な連携、協力体制により実施した。

(2) 若年技能者人材育成支援等事業

若者のものづくり離れ、技能離れなどがみられる中、ものづくりに関わる人材の育成にとって厳しい環境下にあっても高度な技能の維持・向上が不可欠であり、若者が進んで技能者を目指す環境の整備や産業の基礎となる高度な技能を有する技能者の育成が課題となっている。

このため、厚生労働省から受託し、若年技能者の人材育成や技能尊重気運の醸成を図るため以下の事業を実施した。

① 地域における技能振興事業

ア 技能五輪全国大会の予選の実施

2職種 参加者数17人〔3職種 参加者数14人〕

※美容(12人)、造園(5人)

※上記〔〕内の数字は平成28年度実績

イ 技能五輪全国大会及び若年者ものづくり競技大会への参加支援の実施

(ア) 技能五輪全国大会

8職種 選手18人 指導者12人〔6職種 選手17人 指導者11人〕

※配管、貴金属装身具、フラワー装飾、美容、理容、ITネットワーク管理、造園、
日本料理

(イ) 若年者ものづくり競技大会

6職種 選手10人 指導者7人〔5職種 選手6人 指導者5人〕

※電子回路組立て、ITネットワークシステム管理、建築大工、ウェブデザイン、
グラフィックデザイン、造園

ウ 技能五輪選手実演見学会の開催

3会場 7職種 見学者292人〔3会場 7職種 見学者274人〕

※【(株)クボタ】旋盤

【(株)きんでん】電気・情報ネットワーク施工

【パナソニック(株)】機械組立て・マトロクス・フライ盤・精密機器組立て

エ おおさかものづくりコレクション2017の開催

「技能競技大会展」、「技能士展」同時開催

参加者 約8,000人〔約8,000人〕

教室数 19教室

受講者 約720人

自由参加型教室 3教室

受講者 約240人

無料体験コーナー 6教室

受講者 約500人

(丸太切り・かんな掛け、ネイル体験、ロボット教室等)

〔教室数 23教室 受講者 1,400人〕

オ 職業能力開発に係る講演会の開催

参加者 約700人〔約700人〕

カ ものづくり体験教室の開催

6校 受講者257人〔5校 受講者434人〕

キ 市民フェア等におけるものづくり体験教室の開催

1カ所

※「みなみ ふれあい お楽しみ ひろば」

参加者 約3,500人 7教室 受講者 約280人

〔2カ所 参加者 約7,500人 26教室 受講者 1,160人〕

ク 熟練技能者による技能講習の開催

1 職種(フラワー装飾) 4コース 受講者 185人日
 [1 職種(フラワー装飾) 4コース 受講者 255人日]

ケ 技能伝承に取り組む企業の好事例発表及び意見交換会の開催

2回開催

・ITを活用した生産性向上に取り組む企業の好事例発表及び意見交換
 5企業、1団体(7人)、学識者

・技能伝承に取り組む企業の好事例発表及び意見交換会 参加者 116人
 [2回開催 参加者182人]

※・大阪府職業能力開発異業種交流シンポジウム

・「好事例発表及び意見交換会 -マイスター指導の活用を考える-

② ものづくりマイスター等の認定、登録に関する業務

ア ものづくりマイスター等の開拓(「ものづくりの魅力」の動画発信)

イ ものづくりマイスター等への説明、申請書類の取りまとめ

ウ ものづくりマイスター等に対する研修

認定者数 15職種 30人(51職種 延べ314人)

[認定者数 18職種 42人(50職種 延べ279人)]

③ ものづくりマイスター等の活用に係る業務

ア 若年技能者の人材育成に係る相談・援助

イ ものづくりマイスター等の派遣による指導の実施

対象者	件数	延受講者数(人日)
企業及び業界団体	26件 [27]	1,244人日 [1,660]
高校以上の学校	46件 [28]	3,328人日 [2,044]
その他	9件 [0]	112人日 [0]
計	81件 [55]	4,684人日 [3,704]

ウ 「目指せマイスター」プロジェクトの実施

・小中学校等への「ものづくりの魅力」講座等

9校・4施設(若者サポートステーション) 受講者809人日

[6校・1施設(若者サポートステーション) 受講者579人日]

・「ITの魅力」発信 1校(高等学校) 受講者242人

【ものづくりマイスター活動実績計】

・マイスター派遣指導 4,684人日 [3,704人日]

・ものづくり魅力講座 809人日 [579人日]

合計 5,493人日 [4,283人日]

④ 地方公共団体、経済団体等との連携会議の設置・運営

2回開催

※上記 [] 内の数字は平成28年度実績

※上記 □ 内の数字は平成 28 年度実績

役 職 員

(平成30年3月31日現在)

区 分	常 勤	非 常 勤	計
会 長	—	1 人	1 人
副 会 長	—	4 人	4 人
専 務 理 事	1 人 (事務局長兼務)	—	1 人
常 務 理 事	—	—	—
常 任 理 事	—	15 人	15 人
理 事	—	26 人	26 人
監 事	—	3 人	3 人
事 務 局 職 員	16 人 (専務理事兼務事務局長含む)	12 人 (再雇用時短職員・嘱託員)	33 人
	2 人 (サービスセンター アドバイザー)	3 人 (サービスセンター コンサルタント・サポーター)	
計	18 人	64 人	82 人

※役職員の合計は、専務理事兼務事務局長のため1人減で表記。

※上記 □ 内の数字は平成28年度実績